

2月定例会の概要

2月21日～3月16日の24日間

議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件 (知事提出)	32件	平成30年度和歌山県一般会計予算等	可決
条例案件 (//)	42件	知事及び副知事の給与その他の給付 条例の一部を改正する条例等	
人事案件 (//)	2件	和歌山県教育委員会の教育長の任命 につき同意を求めるについて等	同意
その他案件 (//)	21件	平成30年度建設事業施行に伴う市町 村負担金について等	可決
意見書	2件	国民健康保険における子供の均等割に 軽減措置の導入を求める意見書	否決
		浸水被害の回避等を目的とした断面確 保のための中小河川の河道掘削の予 算の確保等を求める意見書	可決

一般質問議員 20人

3月2日(金)	3月5日(月)	3月6日(火)	3月7日(水)	3月8日(木)
山田 正彦 多田 純一	新島 雄 岩井 弘次 雑賀 光夫 泉 正徳 川畑 哲哉	濱口 太史 藤本眞利子 玉木 久登 片桐 章浩 立谷 誠一	森 礼子 岩田 弘彦 谷口 和樹 中村 裕一	藤山 将材 浦口 高典 山下 直也 井出 益弘

会期中の主な動き

- 特別委員会の開催
 - 防災・国土強靱化対策特別委員会……………3/5
 - 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会……………3/6
 - 行政改革・基本計画等に関する特別委員会……………3/8

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

知事の政治姿勢

問 今秋、知事は3期目の任期満了を迎えるが、引き続き県政を担う強い意志があるのか。

答 課題山積の和歌山県ですから、知事たる地位にある私は、新たな県長期総合計画に沿ってこれまで以上に全力で職務に当たらなければなりません。しかしながら、私の任期もあと1年を切りました。県民の皆様が許しくださいるなら、ぜひもう1期、知事として県政を担当させてもらいたいと思います。

県都和歌山市の都市づくり

問 知事はコンパクトシティ計画を策定した市町を積極的に応援すると言っているが、和歌山市が進めている都市づくりに対する見解はどうか。

答 和歌山市では、市街地再開発事業を活用した「まちなか居住」の誘導や大学の誘致など、にぎわいのあるコンパクトな都市づくりを進めており、非常によい雰囲気になってきています。これからは機能の集積なども行っていけばよいと思っており、県として引き続き応援・協力をしていきます。

新六ヶ井堰の全撤去

問 浸水被害のあった地元から新六ヶ井堰の完全撤去と堰上流部の河床掘削の要望があるが、どう考えているのか。

答 国の紀の川水系河川整備計画では、下流部において一定の整備が完了していることを受け、岩出狭窄部対策や藤崎狭窄部対策など中上流部の整備が位置づけられており、新六ヶ井堰の完全撤去や堰上流部の河床掘削は次の課題となっています。国に現在実施中の岩出狭窄部対策などの着実な事業進捗を働きかけるとともに、早期撤去等の要望があることも確実に伝えていきます。

社会的不適応問題

問 社会的不適応行動を起こす個人へのアプローチを丁寧にやった結果、大きな成果を出している佐賀県のNPO法人の取組についての所見を伺いたい。

答 本県では、不登校、ひきこもり、ニート対策が、佐賀県のように1つの法人で実施されていないことから、関係機関が連携し、それぞれの対策を切れ目なくつなぐことが重要となっています。このことから相談員のスキルアップや関係機関と協働した訪問支援の強化など若者の自立支援を充実させたいと考えます。

学校における指導死の問題

問 全国的に問題になっている指導死という問題についてどう考えているのか。

答 教職員の厳しい指導や叱責、体罰等が原因で子供の尊い命が失われることは、絶対にあってはならないことです。児童生徒の人格を尊重し、個性を伸ばしながら寄り添い、指導方法を工夫・改善することが必要と考えます。

企業立地の成果と今後

問 知事就任以降における企業立地の成果と今後について伺いたい。

答 就任以来、11年余りで181社の企業を誘致しています。県としては、引き続き、工業団地や交通インフラのさらなる整備を行うとともに、全国最高水準の奨励金制度などをアピールし、企業誘致に全力を挙げていきます。

健康長寿日本一「わかやま」の実現

問 「健康長寿日本一わかやま」の実現に向けた取組と知事の決意はどうか。



答 「わかやま健康と食のフェスタ」や健康づくり運動ポイント事業、健康推進員に関する施策を一層進めるとともに、毎年度、健康増進計画の達成状況を検証します。県民がいつまでも元気で暮らせるよう、新しい施策も取り入れ、健康づくり県民運動を積極的に展開していきます。

